

2023 年度春semester フィールド・スタディ/プロジェクト研究 募集要項

募集期間	実習期間	募集プログラム
2023/4/12(水)～ 4/26(水) 14:00	2023 年度夏セッション期間 (2023 年8-9月)	P.3 参照

「まだ見ぬ世界へ飛び込もう。」



立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第1版
(2023年4月10日)

フィールド・スタディとは

■フィールド・スタディ■

各学部におけるプログラムの特色

【アジア太平洋学部】

アジア太平洋学部のプログラムでは、アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とする。参加学生は、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じられるようになることを目指す。

【国際経営学部】

国際経営学部のプログラムでは、国際的かつ批判的な思考力及び知識・技能を持つ人材の育成を促進することを目的とする。また、専門科目に対する関連付けを高めるために、経済・経営に関する反転的な学習を経験できる。

国際経営学部では、以下のテーマでプログラムを実施する。

A) グローバルビジネスイマージョン

国・地域をまたいだビジネスについて、歴史、文化、政治的な側面から重層的な理解を促進する。

B) ビジネスを通じた社会貢献活動

実際の社会起業家が活動する現場の視察や養成プログラムに参加することで、社会に貢献できる起業家を養成する。

C) 理論と実践のギャップの橋渡し

企業見学や視察を通して、学内で学んだ最新の知識と現場での実践にどのようなギャップがあるのかを理解する。

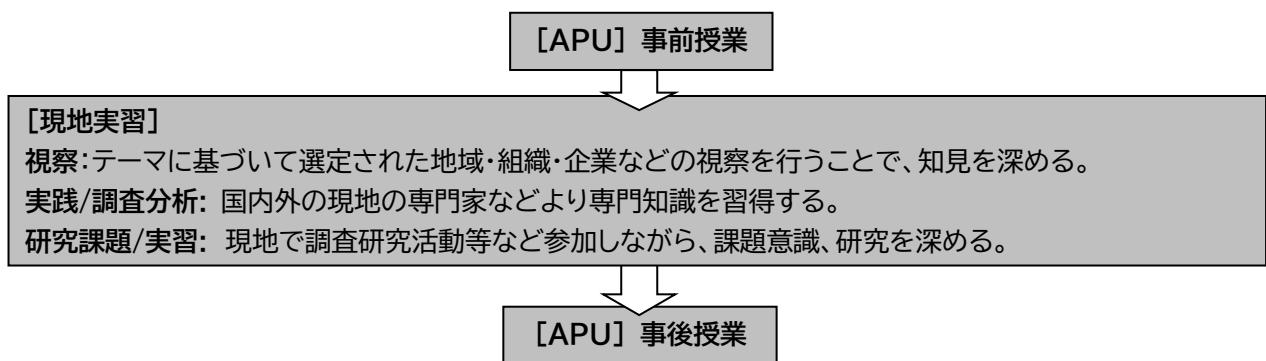
【サステナビリティ観光学部】

サステナビリティ観光学部では、持続可能な社会と観光に関わる現代的な課題や地球規模の問題を解決するために学術的知識と革新的な研究に取り組む「学問的実務家: Academic-Practitioner」の育成を目的としており、フィールド・スタディをはじめとする Off-campus Study Program 関連科目の単位修得を卒業要件の一つとしている。フィールド・スタディは、学部専門分野に関するテーマに基づき、現場で調査・研究活動を行い、学生が自らの興味・関心を深め、専門的な理論と実践を繋げる経験を提供する。

■プロジェクト研究■

プロジェクト研究は、専門演習(ゼミ)を履修する 3、4 回生(5~7 セメスター)の学生を対象とした連携型プログラムです。学生はゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げています。

プログラムの流れ



申請要件 / 科目集計分野

■フィールド・スタディ & プロジェクト研究 共通項目■

申請要件、科目集計分野は、所属学部・カリキュラム年度・プログラム実施学部・セメスターによって異なります。よって、各プログラムのシラバスの「所属学部/カリキュラムごとの履修可否・科目分野・科目名・申請可能セメスター」欄を必ず確認の上、申請してください。

【学籍状態】

- ・プログラム実施セメスター(2023 年度春セメスター)に通常在籍していること。
- ・プログラム実施セメスター(2023 年度春セメスター)に在籍状態が「留学」「休学」となる場合は受講不可。
- ・プログラム実施セメスター(2023 年度春セメスター)が最終セメスターの場合、申請不可。
- ・停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請可。
- ・申請時点で日本国内に在住していること。
- ・上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があるため、詳細をシラバスで確認しておくこと

【言語学修状況】

プログラム実施セメスター(2023 年度春セメスター)時点で、以下条件を満たしていることが必要です。

英語基準学生が日本語開講プログラムを受講する場合:

日本語で授業が行われるため、授業内容を理解することができる程度の日本語能力を有する。

日本語基準学生(スタンダードトラック)が英語開講プログラムを受講する場合

英語中級 A・Bの単位を修得済。

E/J 開講の場合

言語要件: なし

【海外プログラムのみ】

プログラム参加にあたり、日本から出国し、日本への帰国が必須です。

■フィールド・スタディのみ■

受講者の選考にあたっては、開講学部にも所属する学生が優先される場合があります。

■プロジェクト研究のみ■

- ・プログラム実施セメスター(2023 年度春セメスター)に 3・4 回生演習科目を履修中であり、次セメスター(2023 年秋セメスター)も演習を継続する意思があること。
- ・「プロジェクト研究」担当教員の演習(専門演習、卒業研究)に所属していなくても履修可。また、所属学部に関係なく申請可。

募集プログラム

【プログラム一覧】

■フィールド・スタディ■

開講学部	学修分野	プログラム名	担当教員	実習地	単位数	開講言語
ST	(ED)	東峰村の中学生と地域づくり / Community Development with Secondary Students in Toho Village	木村 力央	福岡県東峰村	2	E/J
	(HT)	Heritage Tourism in Rural and Urban Environments	VAFADARI M. Kazem	スペイン (マドリッド、バレンシア) イタリア (ローマ、フォリーニョ)	4	E
	-	熊本の「伝統×現代」-持続的な社会を創生する	上原 優子	熊本県阿蘇	2	J
	(ED)	持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査	土橋 卓也	長野県飯田市	2	J
	(HT)	サステナブルタウン・北海道ニセコ町に学ぶ	吉澤 清良	北海道ニセコ町	2	J
APS	ED	障害と社会 / Disability and Society	山形 辰史	大分県別府市、日出町	2	E/J
	CSM	インドネシア地域研究プログラム: 特異性を多角的に見る方法 / Indonesian Studies Programme: Uniqueness through Multifaceted Lenses	塚本 崇	インドネシア (ジャカルタ、バンドン)	2	E/J
APM	-	北日本経済圏における産業・企業経営の理解 -自然・環境問題・ESG 投資から-	藤本 武士	北海道札幌市、帯広市	2	J
	-	アルビレックス新潟シンガポールでスポーツビジネスを学ぶ / Learn Sports Business at Albirex Niigata Singapore	大竹 敏次	シンガポール	2	E/J

■プロジェクト研究■

開講学部	学修分野	プログラム名	担当教員	実習地	単位数	開講言語
APS	-	現代社会論-〈共生〉について考える	清家 久美	新潟県上越市	4	J

[注意]

- ・ 申請要件を含む、各プログラムの詳細は、必ずシラバスで確認してください。 シラバスは [Off-campus Study Program Web サイト](#) に掲載しています。
- ・ このプログラムの単位は、各セメスターの履修科目登録上限単位数には含まれません。
- ・ このプログラムの履修登録は大学が行います。
- ・ 2023 年度春セメスターの科目として登録されますが、フィールド・スタディの成績発表は 2023 年10月下旬に行われます。

募集概要

募集プログラム

今回募集するプログラムは、「[募集プログラム](#)」で確認してください。

複数の Off-campus Study Program への申請について

- ・ 申請要件を満たし、かつプログラム日程(事前授業、実習日程、事後授業)が重複しない場合は、複数プログラムへの申請が可能です。
- ・ その場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力画面に「他に申請を希望するまたは受講が決定している 2023 年度春 semester Off-campus Study Program をすべて選択してください。」という問いが表示されますので、必要事項を回答してください。
- ・ オンライン申請において「実習日程および事前・事後授業の日時が重複しないプログラムに複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望しますか？」に対して「はい」と選択している場合でも、オフィスでプログラム同士の重複が確認された場合は、志望順位に沿って重複しているプログラムを除いた上で、選考を行います。

申請方法

申請期間中に、以下の申請を行ってください。

申請期間: **2023/4/12(水)~4/26(水) 14:00**

[Off-campus Study Program Web サイト](#)からオンライン申請ページにアクセスしてください。

- ・ オンライン申請ページは申請期間開始と同時に公開されます。
- ・ 複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。
- ・ オンライン申請のプロセスで以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
 - (1) 志望理由
 - (2) (海外プログラムのみ)パスポートの顔写真ページ (未取得の場合はその旨、申請ページ上で申告してください。)

パスポートについて

- ・ 各国の定めるパスポートの有効期限を確認し、現在持っているパスポートが派遣国・地域が指定する期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。
- ・ 申請時点でパスポート未取得の場合:
 - **2023年5月末まで**に取得できるよう、申請方法を調べて取得してください。
 - **「Heritage Tourism in Rural and Urban Environments」に申請する場合のみ: 5/8(月)までに提出してください。(ビザ申請の関係上) なお、旅行手続き、ビザ申請の関係上、有効期限が 2023/12/4 までである必要があります。**

パスポートコピーのアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

- [パスポート] Passport_氏名_学籍番号
(例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

【注意事項】

プログラムへの参加が決定した場合、「[誓約書](#)」をオンライン提出していただきます。申請の時点で、必ず保証人の同意を得た上で申請してください。誓約書には、申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。

選考方法

- ・ 書類審査による総合的な選考を行います。(書類選考の段階で面接が必要と判断された場合は、別途連絡します。)
- ・ 申請者が多い場合、各プログラム開講学部所属学生が優先されます。

募集ガイダンス日程

日時: 2023/4/12 (水) [日本語] 14:20-15:20 / [英語] 15:40-16:40
形式: オンライン (Zoom MTG ID: 995 6471 6384)

選考結果発表

2023/5/8(月) (Campus Terminal「あなた宛ての重要なお知らせ」で通知)

受講者ガイダンス

日時: 2023/5/17(水) 5 限 (16:10-)
形式: オンライン (Zoom MTG ID: 受講決定後に別途連絡)

危機管理ガイダンス (出席対象: 海外プログラム受講者のみ)

2023/7/19(水) 5 限 (16:10-)
形式: オンライン (Zoom MTG ID: 受講決定後に別途連絡)

参加における注意事項

【注意】基本的な注意事項は巻末添付「[プログラム共通事項](#)」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。以下には本プログラム独自の参加条件を記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・ プログラム参加にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。各プログラムにかかる費用の目安はシラバスに記載しています。海外プログラムについては、海外渡航需要の高まりや円安の影響等で目安額を上回る可能性があります。
- ・ プログラムに要する費用や支払い期限は、確定次第、プログラム毎に連絡します。遅くとも出発の一カ月前にはお知らせする予定です。
- ・ 支払い期限までに支払いがなされない場合、支払い期限日翌日を以ってプログラム受講資格が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、既に発生した費用は学生本人の負担となります。
- ・ (海外プログラムの場合) 新型コロナウイルスの影響で、規制がかかり入国できない可能性や、入国のために別途費用が発生する可能性があります。その際に発生する費用は、原則自己負担となります。

2. 参加において必要な手続き等

実習地への交通手配

[国内実施プログラムの場合]

- ・ 原則、担当教員の指導の下、個人で手配をする必要があります。

[海外実施プログラムの場合]

- ・ 航空券は大学が手配します。支払い方法は受講決定後にプログラム毎に連絡します。
- ・ 渡航経路は日本出国・日本帰国とし、担当教員、他参加者と共に渡航・帰国します。現地集合、現地解散はできません。また、渡航スケジュールは本学が指定し、個人都合による行程の変更をすることはできません。

3. 免責事項・留意事項

履修登録における留意事項

- ・ 事前・事後授業及びプログラム期間が、正課の講義・補講や定期試験・追試験、履修登録期間や正課外活動や研修などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ学年暦やその他の活動期間とプログラム期間を確認してください。
- ・ 既に登録済みの 2023 年度春セメスター第 2 クォーター科目・夏セッション科目と、希望するフィールド・スタディのプログラム実施期間(事前授業、実習、事後授業)が重複している場合も、プログラムへ申請することは可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自、履修登録修正期間②で春セメスター第 2 クォーター科目・夏セッション科目の履修登録を削除してください。
- ・ キャンセルにかかる費用は学生本人の負担となります。(停学になった場合を含みます)

4. 新型コロナウイルスに関する注意事項

ワクチン接種・PCR 検査について

- ・ 2023 年度より、Off-campus Study Program の派遣要件として、ワクチン接種ならびに派遣前の PCR または抗原検査の受検は求めません。
- ・ ただし、派遣先・派遣国によってワクチン接種の要件、ならびに陰性証明書の提出などが求められる場合には、その指示に従う必要があります。その指示に従えない場合は、参加取り消しとなります。また、その時点までに発生した費用は支払わなければなりません。
- ・ **「インドネシア地域研究プログラム：特異性を多角的に見る方法」に申請する場合：インドネシア政府の方針により、入国および国内移動のために、有効なワクチンを 3 回接種している必要があります。(2023.4.10 現在)**

日本への入国にあたって (2023.4.10 現在)

- ・ 有効なワクチンを3回接種していることが確認できる証明書、もしくはワクチン接種が2回以下の場合、(派遣国・地域での)出国前72時間以内の検査証明(陰性証明)が必要です。

派遣中止について

- ・ 感染症の蔓延、社会情勢、派遣先の都合等の状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。(添付)プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」参照
- ・ 派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・ 派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。

その他

参加資格について

- ・ プログラムへの受講許可が下りていない学生がプログラムへ参加することはできません。

実習中の危機管理・健康確認

- ・ マスク着用は個人の判断に委ねますが、派遣先によって着用が求められる場合には、その指示に従う必要があります。また、派遣中は日常と異なる環境下で、宿泊を伴う学修を進めることとなります。よって、コロナ禍と同様に留意をしながら、危機管理、健康管理は自身の責任下で努めるようにしてください。

スケジュール

日程	内容
2023年	
4/12(水)	募集開始
4/12(水)	募集ガイダンス 形式: オンライン Zoom MTG ID: 995 6471 6384 [日本語] 14:20-15:20 / [英語] 15:40-16:40
4/26(水) 14:00	募集締め切り
5/8(月)	選考結果発表
5/17(水) 5限 (16:10-)	受講者ガイダンス<参加必須>
6月-8月	事前授業(詳細はシラバス参照)
7/19(水) 5限 (16:10-)	危機管理ガイダンス<参加必須> 海外プログラム受講者のみ 形式: オンライン (Zoom MTG ID: 後日連絡)
8月-9月	実習及び事後授業(詳細はシラバス参照)
10月下旬	成績発表

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

フィールド・スタディに関する問い合わせ先

アカデミック・オフィス B棟1階
TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
担当者: アカデミック・オフィス 下村、伊東、井戸沼、二宮
Email: atfs@apu.ac.jp

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、ビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいりません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スケジュール・オフィスで確認してください。

注意)プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、危機管理システム等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
- 2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合
2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。
- 3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原

則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

- ③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものとして扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、合格者あてにお送りする誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- ① プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと決めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- ② プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

2023年度 立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program に参加するにあたっての遵守事項**1. 基本姿勢**

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) **[交換留学/ダブルディグリープログラム/短期サマー・ウィンタープログラム/EXPLORE]** 渡航前に、日本出国・日本帰国までのすべての渡航期間について、本学が指定する海外旅行傷害保険に加入すること。また、プログラム期間を含む本学が指定する期間について、危機管理支援システムに加入すること。
[上記以外の全プログラム] 渡航前に、**[海外プログラムの場合]**本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム、**[国内プログラムの場合]**本学が指定する国内旅行傷害保険へ加入すること。
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。
- (8) **[交換留学/ダブルディグリープログラム/短期サマー・ウィンタープログラム/EXPLORE]**
大学に事前に申告した日本出国日から日本帰国日までの期間以外での行動は本学の責任ではなく、すべて参加者本人の責任において行動すること。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

[交換留学/ダブルディグリープログラム/短期サマー・ウィンタープログラム/EXPLORE]

- (1) 日本からの出国および帰国日ならびに途中の旅程を予め本学に提出すること。
- (2) 予め、本学に提出した旅程を理由なく変更しないこと。変更した場合は、変更した旅程を本学に提出すること。

[上記以外の全プログラム]

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1)および(2)の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓約書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報(氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報)は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国(日本、参加学生の母国、派遣国)の在外公館及び政府機関)に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名(入力不可)

学籍番号 _____

参加プログラム フィールド・スタディ 障害と社会
フィールド・スタディ インドネシア地域研究プログラム: 特異性を多角的に見る方法
フィールド・スタディ 北日本経済圏における産業・企業経営の理解 -自然・環境問題・ESG 投資から-
フィールド・スタディ アルビレックス新潟シンガポールでスポーツビジネスを学ぶ
フィールド・スタディ 東峰村の中学生と地域づくり
フィールド・スタディ Heritage Tourism in Rural and Urban Environments
フィールド・スタディ 熊本の「伝統×現代」-持続的な社会を創生する
フィールド・スタディ 持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査
フィールド・スタディ サステナブルタウン・北海道ニセコ町に学ぶ
プロジェクト研究 現代社会論-〈共生〉について考える

学部 (APM / APS / ST)

回生 (1 / 2 / 3 / 4 / その他)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名(入力不可)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____

本人との関係 _____

※保証人欄は、父母・身元引受者等が記載してください。

【以下のいずれかに該当する場合、保証は無効であるため、プログラム参加によって生じる一切の債務は、学生自身が負担することとなります】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合